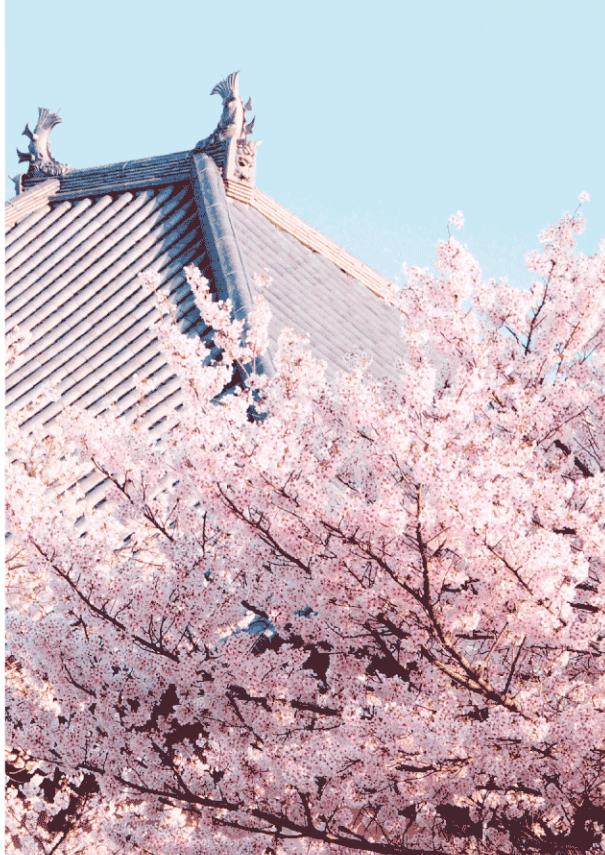


131号
Spring
2015

まごころ



全国まごころケアネット



さくら
写真提供：寺尾マサ子さん

CONTENTS

巻頭言 「東日本大震災から四年」

1

祖母を見送り、父を見送り、
母を見送り、今夫の介護18年

2 4

改正介護保険について

5 6

センターだより

7 12

孫子老だより ～健康管理はユーモアと笑いで～

13 15

事務局だより

16

東日本大震災から四年



特定非営利活動法人
日本ケアシステム協会
会長 兼間 道子



東日本の大震災から早4年が過ぎました。お亡くなりになった人、そして、一瞬のうちに愛する家族を失った方の癒えない心痛を思うと、心から謹んで哀悼の意を表します。

特に、家族を失っただけでなく、津波で家が崩壊、また、いまだに行方不明で瓦礫の下を探している方もあります。4年前のあの時のこと、私は、即刻に救助に向かうべきか否か思案の後、混乱の中で邪魔になるより、ここで出来ることをやろうと翌日14日に「東日本震災支援本部」を立ち上げ、研修生やボランティアさんに加わってもらって活動を開始、まずは高松駅前など街頭に立つことから始めました。大勢の方から義援金をお寄せいただき、特に小さなお子さんから「ちょっとしか無いんやけど」と差し出された手には感動と感謝でした。ライフラインの復旧を待たずして危険を顧みず現地へ向かった勇敢な仲間もありました。東北拠点のまごころセンターの仲間たちの被災者支援は幾多のご苦労があったに違いありません。

3か月経過した6月10日、総理官邸にて内閣府「新しい公共」推進会議で震災支援制度等ワーキング・グループ委員会が立ち上がり、その一員として宮城、福島、岩手へ現地入りし、地元NPOなどと懇談しました。その後、一行らと別れて岩手に残りました。3か月が経っているのに現地の状況は津波が引いたその時のまま、巨大な船が陸に横たわっていました。私は、何処が道かも判然としないところを茫然と歩き、散乱した瓦礫、救助で消防車が行き来、真言宗らしきお坊さんたちが法蓮華経の木魚を響かせながら歩く行列が見えました。あまりに無惨で、ただ痛ましく涙もでなかつたことを思い出します。

さて、東日本大震災の3月11日全国各地で追悼がありました。被災した方たちの映像を見聞きするたびに涙が溢れます。被災地では4年が過ぎたというのに心は日増しに重くなっていることが分かります。とくに、福島では原発の影響で自分の家に帰る見通しが立っていない人のことを思うと言葉も出ません。これからも幾多の困難を乗り越えなければならないのです。原発事故は、取り返しのつかない大きな犠牲を払っていることを国民皆が認識すべきです。いったい何時までこの苦しみが続くのか、原発は人災と私は考えていて、本当に身が縮む思いです。

私たちも何らか支援を継続したいと、定期便で先週も洋服生地を段ボール満載で発送しました、手作りのコースターを創るそうです。昨年度には、まごころケアサービス全国大会を福島で開催し、東北ブロックの計らいで被災者との交流の時を過ごしました。「時間が経つと私らのことは忘れ、ないがしろに」と泣いていました。

仮設住宅で手作り品を創るのに縮緬や正絹の着物生地が要るとの希望を知って、早速、箪笥に仕舞ったまま着なくなった着物などを収集して送る活動を開始、呼びかけに多くの協力がありました。太く強い絆の輪は本当に嬉しいものです、ありがとうございました。さらに、さぬきうどんを食べさせに鍋釜持参で現地へ行ってアツアツの手打ちうどんを振る舞いたいとの意見も出て打診するも、結果、贈って欲しいとの返答で苦笑ながら発送したという温かいエピソードもあります。

今年、5月17, 18, 19日には、全国まごころサービスネット日本ケアシステム協会全国大会を宮城塩釜センターで開催、南三陸へも足を運ぶ計画です。一人でも多くの方に同行の申し出を待っています。現地で買い物するだけでも復興支援になるといいます、皆さんも是非ご一緒しませんか。

まごころエッセイ

祖母を見送り、父を見送り、母を見送り、今夫の介護18年

—後編—



まごころケア屋島
やすらぎセンター
さぬき市志度
ありおか みちよ
有岡 融代さん

「夫のこと」

家族構成

○夫 81歳、妻 76歳、二人

暮しの老々介護である。

近くに車で7～8分の所に長女家族が住んでいる。そして次女は東京住まい。

○病歴

18年前、夫63歳の時第1回の脳梗塞、2回、3回、4回、5回目の脳梗塞が2年前2012年に生じた。4回目までは右足

と右手が少し不自由で大便の失敗がときどきあるぐらいで、家が86番札所志度寺の近くなので（200メートル）お天気のいい日は一人で散歩に行く事が出来ていた。

2012年、10月28日、私が図書館ボランティアをしている

ので、その日は絵本に造詣の深い方をお招きして講演会を開催した。朝からその準備、講演会開催、その後講師へのお礼、神

戸からいらっしゃっていたので、バス停へお見送りしてとう行程だつたので朝9時に家を出て帰宅したのが夕方6時だつた。そのように長時間家を空ける時は夫は何もできないので、昼と夜のお弁当を作つて、いつでも食べられるようにして出かけている。

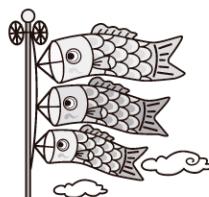
6時に帰宅した時、夫はベッドに横になつていた。「今日はどうだった、変わつた事はなかつたん？」と尋ねると、夫は「お隣の戸板ガラスを割つてな・・」といつた。怪我がなかつた事を確認して隣家へお詫びに行つた。お隣の主さんは90歳でとてもお元気で日用雑貨店を開いている。「こんな病人をおいといて、一日何処へ行つとつたんな、電話番号をきいても分からんし、あんたの行き先をきいても分からんし、心配したことや」と大変なお叱りだつた。携帯番号を玄関の柱に張つた。長女夫婦が夫の横に座つていることを何時も言つてはいることを伺つてはいる

平あやまりに謝つて帰宅する

と長女夫婦が夫の横に座つていた。すこし前に、長女の夫さんが出張先のお土産を持って我が家に来たそうで、その時の夫の歩き方が普通ではなかつたので、心配して長女と一緒に再度きたと言う。ベッドに横になつている状態では分からなかつたが、夫に起きてもらつて歩いてもらつたら、右へ右へ倒れていく。どうするか夫に聞いたら、今まで1回目はともかく、2回め、3回め、4回めはダルマさんのようになつて手足が動かなくなり、その都度近くの医院先生に往診していただき、その紹介状で屋島脳外科へ行つた。屋島病院へ入る時は車椅子だが、MRIの検査器機から出でてくる時はもう普通の歩きになつていて、過去のように又元へ復活するというか戻るので、夫はその事を思つたのか「今日は日曜日なので明日の朝病院へ行く」と言う。そうこうしている内に、東京にいる次女から電話がきた。

「医師の友人に伺うと、すぐ病院へ行くように、時間の問題らしいよ」とのこと、長女から次女へ連絡をしてくれていたらしく。長女夫婦と相談して病院へ行く事に決めた。近くの医院は留守なので、屋島病院へ電話

を入れると「今、脳外科の先生はいません、救急車にお願いするように」とのこと。そして救急車にきていた。『今日はおさか脳外科へ行きます、それでいいですか?』と言われる。「お願ひします」私は夫と一緒に救急車に乗り、長女夫婦は彼らの車で救急車に後続してくれた。



おさか脳外科へ着いた時は夜

の8時だった。夫はすぐMRIの検査に入った。検査の結果、医師の報告では「過去に脳梗塞のあとはありますが現在の脳梗塞は見当たりません、しかし、今から脳梗塞の治療を始めます」だった。ナースステーションの前の部屋へつきそいの私も一緒に即入院した。そして点滴が始まつた。

2日目・MRIの検査。3日目・MRIの検査。病院へ来た時はすこし歩いていたが、2日めから立つ事もできなくなつた。4日目・MRIの検

査、そして医師からの報告をきいた。「今日、やっと分かりました」脳の映像をみながら、『1日目、2日目、3日目、と検査をしたが、分からず、4日目で分かつたことは脳の中心にある脳幹の部分に梗塞がありました。即死してもおかしくない場所です。幸いに命があつたのだから、今後、車椅子になるかもしれないが、ラッキーと思つてください。』という事だった。それから部屋をわり、個室で10日間、私も一緒に寝泊まりして過ごした。

個室へ変わつて3日目位から立つことのリハビリが始まつた。個室で10日過ぎると4人部屋に移つた。私は家から通う事が始まつた。おさか脳外科は高松市の南の方にあり、車に乗れない私にとつて交通の便では大変だった。志度→瓦町まで電車で35分、瓦町→おさか脳外科の近くまでバスで30分、そこから病院まで徒歩10分、両足の膝の手術をしている私にはこの10分がとてもつらかった。通常に当たつて、車の便がある時は、友人、長女、従姉弟、ケアマネージャーさん、皆様の温かい助け

はとても嬉しかつた。このご恩は忘れないようにしておこう。



おさか脳外科では、毎日、理学療法士、作業療法士さんによつてリハビリが始まつた。

1ヶ月過ぎて、医師からの報告があつた。

「おさか脳外科はリハビリ入院の施設があります、しかし、自立のできる人、又は介護人が付き添う事が条件です。それができなければ、他のリハビリ病院を探して下さい」

だつた。ケアマネージャーさんと相談した。交通の便を考えると高松市内の三宅病院がいいとの事でそこに決めた。おさか脳外科の医師にその事を伝え紹介状をいただき12月初めに三宅病院へ転院した。三宅病院はホテルのように豪華なしつらえだつた。4人部屋だつたが個室のように美しく設計されていて気持ちの落ち着く空間だつた。リハビリ室も広くゆつたり

と理学療法士、作業療法士たちが温かく接していただきありがとうございました。朝、昼、夕方、と一日3回、実時間1回45分のリハビリだつた。体のマッサージ、歩行訓練、頭の体操、・・・。12月、1月となりハビリを続けていると車椅子の夫は歩行器で歩けるようになつた。

車椅子を覚悟していたので嬉しさと驚きだつた。早期のリハビリの効果を実体験した。そして三宅病院の主治医から「もうそろそろ退院ですね、あとは自分で頑張つてください」だつた。

2月になつてインフルエンザにかかり退院は遅れて2月末になつた。病院から2人、工務店の人、ケアマネージャーさんの4人が我が家で集合し、夫の帰宅後の動きに合わせて廊下、便所の手すりを取り付ける事が決まった。介護保険助成金申請書を作つて早速工事をしていただく。退院の時に係の人から「尿意がなくなつてゐるようと思う」といわれた。

2013年3月 から家での生

まさに帰宅してそのことを身をもつて痛感した次第。それからうんちとおしつこのおしめがえで苦労続きとなつた。つらかつた。

夫は19時に就寝、夜中0時と朝4時におしめがえ、大型の両脇でとめるオシメ、パッドは4回分吸収を2枚重ねて0時に1枚を抜き、朝4時に全部のオシメを取りかえるこの作業を4月、5月、6月、7月、8月、9月と続いた。夜中に起きるという作業はつらかつた。

10月になり夜中に全部広げる
のは寒いから履くオシメばんつ
に変えようかなと思つてゐる
頃、10月の中頃朝4時に起きて
来るとウンチの臭いが充満して
いた。夫の部屋を開けて仰天、
畳1枚軟便の洪水、立つた夫が
オシメの両止めを外したところ
だつた。雑巾でふいてもふいて
も畳の目に入つてしまつてきれ
いにならない。乾いてからめう
ちで畳の目をほじくつてその作
業は2日かかつた。

それからはハクパンツに変え
て2回分吸収のパンツに4回分
吸収のパッドをはさんで寝ても

なに？と思ひ電気をつけて
びっくり！、廊下がウンチと共に
に水浸し。廊下の左側、夫の部屋を開けるとベッドに座つてい
た。「どうしたん？・・・」右
側の便所の戸を開けると便所も
ウンチがあつて水びたし、便器
の中をみるとなんにもなくきれい、
これはどいいことじや？・・・、
もういちど夫にきいたが返事な
し。都合の悪いことはいつも答
えなしの夫の態度、滑つて汚れ
た自分自身の身づくろいをすま
して夫の体を洗い下着をとりか
え、ベッドのシーツを変えて、
便所と廊下とその周辺を掃除し

また、今年2014年3月ごろの事、朝4時に起きて便所のまえの廊下でツルツとすべつた。



ていたら、朝の6時を告げるサインレンがなつた。4時から2時間もこんな事をしている自分に気づき、だんだん悔しくなつてきて涙がポロポロと流れた。こんな状態で便器がきれいなのが納得できず「なんなのだろう?」と自分のなかで反芻しながら

逃げ場を求めて時々非日常性の時間と空間の中で心身のバランスをとることにしている。

私にとって特急のあの空間は
救いである。

ウンチの失敗はたくさんあるが、介護保険のお陰でなんとか在宅介護ができている。週3回のデイケアと3泊4日のショートステイだが、少し前までは月2回、今本人の希望で月1回になっている。1回ではつらいものがあるので、できれば2回に戻したい私の希望がある。

戻したい私の希望がある。
後3年、まだお互いに
いたら、80歳で夫の在宅
卒業したいと思つてゐる。

その時は施設の皆様よろしく
お願いします。今は通所でお世
話になつてありがとうございま
す。

感謝、感謝です。

た自分自身の身づくろいをすますして夫の体を洗い下着をとりかえ、ベッドのシーツを変えて、便所と廊下とその周辺を掃除し

もういちど夫にきいたが返事なし。都合の悪いことはいつも答

それから、胸がこみあげてき
て怒りとも、悔しさとも、みじ
めさかもの入り混じった感情が
爆発しそうになつた。夫を責め
ることもできず、JRの時間表

言つた。

それから、胸がこみあげてきて怒りとも、悔しさとも、みじめさかもの入り混じった感情が爆発しそうになつた。夫を責め

言つた。

その時は施設の皆様よろしく
お願ひします。今は通所でお世
話になつてありがとうございま
す。

いたら、80歳で夫の在宅介護を卒業したいと思つてゐる。

特別寄稿 「祖母を見送り、父を見送り、母を見送り、今夫の介護18年

MAGOKORO



改正介護保険について

改正介護保険にどう対応するか?
～自治体、事業者、利用者の立場から～

まごころケアサービス
福島センター

須田 弘子

2015年度の改正で介護保険制度が大きく変わります。「地域包括ケアシステム」が一層具現化されようとしている。

- ①主体が市町村である。
- ②要支援者を住民相互の助け合いで支える。
- ③医療、保健、福祉の更なる連携+インフォーマル
- ④地域ニーズ、人材、ネットワーク

など、NPO法人として整備と掘り起こしは急ピッチで取り組まなければならぬと考えています。そこで「協議体」と「生活支援コーディネーター」のあるべき姿について、私たちも勉強会を始めています。新地域支援事業「推進チームふくしま」とい、月1回開催。メンバーは中央研修や県レベルのフォーラム参加者他に声かけで、県、社協、包括、民間、NPO団体など計16名です。目的は

『新地域事業への円滑な移行・実施に向け、県・市町村及び各種団体との連携を図り、協議体の設置及び生活支援コーディネーター配置等に寄与していくとともに、助け合い、支え合い活動を創出していくための支援を行う』ことを目的にしています。

具体的な活動として

1. 新地域支援事業についての研究、並びに勉強会の実地研修
2. 新地域支援事業についての啓発活動
3. 社会資源の実態を把握し、不足しているものを創出するための支援
4. 県・市町村への提言
5. 県・市町村が実施する研修会等の支援
6. ネットワークを通じて情報の収集と提供

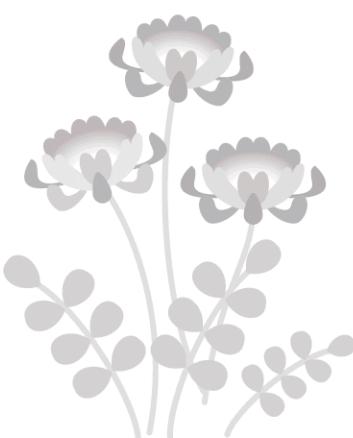
県は、本年コーディネーター養成研修を実施、市町村職員とコーディネーターとして活躍してくれそうな人も推薦してもらう方向で考えています。

私たち、その前に、市町村向

けに新地域支援事業のイメージをもつてもらえるような研修を5月中に実施し、推進チームのメンバーが実行委員として今後のスケジュールやインフォーマルサービスを含めたカリキュラムをつめていきます。

今迄も色々議論されてきましたが、「居場所」の存在が大きいと感じています。高齢者から子どもや障がいのある人も自然に集まつてくる、みんなの居場所がいずれ相談窓口や、ニーズに添った足りないサービスの創出や生活圏の中で見守りが重要になってくると思われます。

元気高齢者の居場所と出番は、改正介護保険制度を意識した福島の取り組みとして、我がまちづくりを推進して参りたいと思っております。



改正介護保険法への取り組み

日本ケアシステム協会事務局

平成26年6月25日「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（以下「法」という）ならびにこれに関連した政令や省令が公布されました。

このことにより介護予防サード

ビスのうち介護予防訪問介護と介護予防通所介護が「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下「総合事業」という）に移行し、平成29年度までに全ての市町村で実施することになります。（平成27年4月1日施行）

事務局のある高松市では先日、平成27年1月26日付で市の介護保険課長名で通知がありました。高松市ではこの「総合事業」の開始は平成28年度以降との通知でした。マスコミ報道などによりますとこの総合事業への取り組みは全国的にも取り組みが低調で、道半ばとの感が否めないところです。

国が示しているガイドラインによると、住民が住民にサービスするとの論調が目立ちます。行政側が認めた介護保険事業者

が介護保険法によってサービスをする介護保険事業から、軽度者については住民の助けあい活動へと大きく転換するというものです。市民を利用者としてだけではなく、支援者として参画していただくような仕組みづくりを構築するというものです。

そういう意味では、今回の改正は介護保険法の抜本的な改革だということがいえると思います。これまで政府の責任として介護保険で見てきた高齢者を、軽度の者については「総合事業」を創設して市町村の負担にします。軽度高齢者を介護保険から外すことによって費用負担を抑えようという方策です。

市町村の責任で新システムでの提供になりますので市町村によつて格差が生じるかもしれません。この新制度を実践・実行するために示されたのが「生活支援コーディネーター」の創設、及び「協議体」の設置です。

「生活支援コーディネーター」とは、割合元気な人などを集めて担い手の確保、行き来しやすい交わりの場つくり、福祉資源ネットワーク開発など、つまり、生活支援コーディネーターを地域のリーダーとして活

躍させ、新たなシステムを構築するという構想です。

「協議体」とは、支援に必要な対象へ対して、ボランティア団体、NPO、自治会、老人クラブ、婦人会、民生・児童委員会、シルバー人材センターその他など組織が一堂に会して、バームクーヘンのように重なつて知恵をだし合うというのです。協議体は、机上の空論に終わるのを避けなければなりません。実行充実を目指します。

今回の介護保険改定は要支援者への対応が際立っています。

自分でできることは自力でやつてくださいということです。残存機能を保持する意味でも機能低下に至らないよう健康を維持していくことが大切です。人の世話を受けるより提供できるのが幸せではないかと思います。その方向性は政府の示す地域包括ケアに重なります。

私たち全国のまごころケアの仲間たちは介護保険法が導入される以前から、高齢者介護を時間預託制度（ポイント制を開発）でボランティア活動をしてきました。

今こそ初心に立ち返りこれまで積み重ねてきた実績やノウハウを生かしこの難局に立ち向かうときだと考えます。今後、より一層連携を密にし、情報交換をしながら全国の仲間の皆様と一緒にになって取り組んでまいります。その方向性は政府の示す地域包括ケアに重なります。

ただし、政府の地域包括ケアの実現をただ傍観、待つていては進まないので福祉資源などを結集して皆で意識形成に向かっていきたいものです。新制度への円滑な移行の成否は、市町村

など行政はもとより、社会福祉法人、社会福祉協議会、NPO 法人などの各団体や、何より地域住民の理解と行動力が不可欠だと思います。

そのためには、できるだけ元気なお年寄りに手伝つてもらう、いわゆる地域の互助の仕組みが必要だと思っています。さまざまな機会をとらえて、地域の組織強化に向けて活動を推進することが必要です。

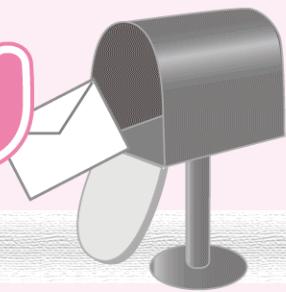
私たち全国のまごころケアの仲間たちは介護保険法が導入される以前から、高齢者介護を時間預託制度（ポイント制を開発）でボランティア活動をしてきました。

今こそ初心に立ち返りこれまで積み重ねてきた実績やノウハウを生かしこの難局に立ち向かうときだと考えます。今後、より一層連携を密にし、情報交換をしながら全国の仲間の皆様と一緒にになって取り組んでまいります。その方向性は政府の示す地域包括ケアに重なります。

各センターでの取り組み状況や、問題点、課題など何でも結構ですのでお寄せいただきます。ようお願いいたします。

まごころケア旭川

センターだより



まごころサービス旭川センターがKさんと係わって10年が経ちました。今年の1月、Kさんを送つて、永年係わつて来た福原ヘルパーがその思いを綴つてくれました。

「出会いと別れ」

福原 郁子

Kさんとお会いしたのは、10年前、奥様のターミナルケアからです。残り時間は少ないといわれましたが、お家に帰られたからでしょか、思ったよりも長く、御家族に看取られ、好い時を過ぎされました。その後、久しくしてKさんご自身の生活援助に伺うことに。

肺を患い酸素吸入を離せず、家中歩けるように長い管をつけていましたが、とてもお元気で食欲旺盛、そして大の美食家でした。

毎日、朝夕の訪問介護、週2回の入浴と多数のヘルパーが出入りしていましたが、他のヘルパーのことは、一切話すことはなく紳士的でした。

娘さん、息子さんも遠くから交際に入りますが、「貴方がたが帰ると、一人で話すこともなく、声が掠れて出なくなる」と。気丈な方でしたのが寂しかったようですね。1年前、帯状疱疹を患つてか

ら、急速に体力、気力も衰えお金の管理、その他、忘れることが多くなり、ご本人はかなり戸惑つていました。年が明け、1月5日朝、夕のケアは変わりなく、6日、16時に伺うとPトイレに座つていて立てない。足を見ると浮腫がひどい。訪看と事務所に連絡。責任者が来てから二人で清拭。

落ち着いてから、小さな缶ビール（医師が了解）おいしそうに飲まれ、大きな丼でおかゆ一杯と数種のおかずで夕食を済ました。

その後、かかりつけのお医者様が来て下さり入院することに。最後まで自宅でと望んでいましたので、救急車が来ても渋っていたそうです。7日、病院に普段の薬を届けに行くが、吸入器が顔を覆つていて、お話しできず、握手をしてそれが最期になりました。9日、朝連絡を受け、こんなにもあつさりとお別れになるとは。いかにもKさんらしいです。93才、よく頑張り、老いという手本と課題を沢山残してくださいました。

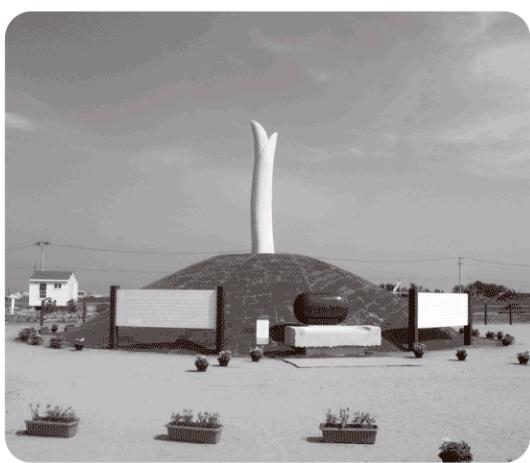
やさしい笑顔が浮かびます。ありがとうございました。

まごころケア塩釜

全国大会に向けて

門脇 俊

阪神・淡路大震災から20年が経過した



名取市開上に建立された震災慰靈碑

神戸の現場では、いろいろな方とお話しをしましたが、こちらから震災の事を聞く事は怖くてできませんでした。しかし、ある日アルバイトで働いていたおじさん達から、地震の話を聞くことができました。彼らが実際に体験したショックингな話をしてくれました。

笑いながら話してくれましたが、その後、長田の鉄人28号を見た時は少し胸が痛くなりました。

それから半年後、東日本大震災を経験

します。夜勤明けで寝ていた私は、地震の揺れと携帯電話のけたたましい音で飛び起き、買つたばかりのTVを守っていました。強い揺れがお井からぶらさがつて、蛍光灯の傘が90度以上揺れており、これを見て、これはただ事ではないと初めて感じました。

地震の最中に停電した為、情報が入つてしまませんでした。津波の情報は、携帯電話でTVを見ていた小学生に聞いたものだし、自宅裏の川が逆流し水かさが増していくのを見て津波が来たことがわかつた程度のものでした。もしかしたら、停電地域以外の方々のほうが、津波の状況や被害の大きさをリアルタイムで感じていたと今では思っています。



小旅行で宿泊予定の南三陸町のホテル観潮（インターネットより引用）

まごころケアの全国大会では、私達が経験した事をお伝えしたつもりです。しかし、私達は先の地震や津波で『住み慣れた地域やコミュニティ』まで被害を受けてしましました。私が皆様にお伝えしたのは、目の前にあつた非日常的な情景と『普通の生活』ができない苛立ちであります。しかし、私達は先の地震や津波で『住み慣れた地域やコミュニティ』まで被害を受けてしまつた事と言ひ換えることができるのかもしれません。

昨年、全国大会を塩釜センターでお受けした時には、まつ先に復興途中の宮城県を見て欲しい！実際に津

します。夜勤明けで寝ていた私は、さまで、ふと視線を上げると、天井からぶらさがつて、蛍光灯の傘が90度以上揺れており、これを見て、これはただ事ではないと初めて感じました。

地震の最中に停電した為、情報が入つてしまませんでした。津波の情報は、携帯電話でTVを見ていた小学生に聞いたものだし、自宅裏の川が逆流し水かさが増していくのを見て津波が来たことがわかつた程度のものでした。もしかしたら、停電地域以外の方々のほうが、津波の状況や被害の大きさをリアルタイムで感じていたと今では思っています。

波被害に遭われた方の経験談を聞いて欲しい！と思いました。そして、今回の全国大会で経験して頂く事を皆様の周りに伝えて頂き、皆様の今後への糧になればと思い計画を練つております。計画としましては、

①

宮城県の南部にある山元町にて中村怜子理事長のお話を伺いました。

中村理事長はご自身の介護事業所が津波に遭い、理事長自身もその中で水に浸かりながら救助を待つた経験をお持ちです。その後、仮の事業所を運営し、昨年場所は変わつてしましましたが、新事業所を立ち上げられました。

（ゆりあげ）地区へ向かいます。赤貝漁が有名な港町です。平成26年9月に復興計画ができあがり復興へと歩みだしています。仙台東部道路と三陸自動車道を使い、松島で一泊します。夕食の際は、日本三景松島を眺めながら4月から施行されている改正介護保険法、地域ケアシステムについて各事業所で意見交換をできればと思っています。

③

仙台東部道路と三陸自動車道を赤貝漁が有名な港町です。平成26年9月に復興計画ができあがり復興へと歩みだしています。

総会終了後、南三陸町までのバスでの小旅行を計画しています。リアス式海岸を望めるホテルにて、一泊します。

④

塩釜センター一同、皆様に楽しんで頂けるような全国大会を行いたく準備しています。ぜひ、多くの会員様のご参加をお待ちしております。

特定非営利活動法人 住民互助福祉団体 ささえ愛山元

宮城県の東南端に位置する山元町山寺で、居宅、訪問介護、通所の介護保険事業と、宅老、移送、雑用代行の介護保険事業外の6つの事業を行っているNPO法人です。震災で、JR常磐線の線路を挟んで東側にあつたデイホームと事務所を兼ねた施設は全壊し、西側にあつたデイサービスセンター「ミニホーム愛広館」も1階部分が大きな被害を受けま



交歓会の会場を予定しております
宮城県南部に位置する「特定非営利活動法人 ささえ愛山元」



土台だけ残したデイホーム

した。そして、悲しいことに職員が3名、利用者が3名亡くなりました。代表の中村怜子さんは、5月まで、生活意欲を失くし、途方に暮れている状態が続いていました。しかし、「100年に一度の震災で、親や夫を亡くし、夢であつてほしいと毎日思っていますが、今回ほどデイサービスの必要性を感じたことはありません。」と、活動の再開を誓いました。



震災後の名取市閑上 2011年4月17日
ほとんど家屋が流失し、名取川河口が変形した。
(社会法人東北建設協会提供 インターネットより引用)



震災前の名取市閑上 2007年5月
(社会法人東北建設協会提供 インターネットより引用)



まごころケアホーム高湯の里が開所して11年が過ぎました。開所時より通つて来ている方も93歳になり、利用者さんの半分が90歳以上という毎日です。とにかく皆さん元気です。

その元気な源となるのが高湯の里の昼食です。高湯の里は、広い土地に恵まれ、季節ごとに畑には白菜、大根、青菜、ねぎ、じやがいも、な

高湯の里の昼食について

石田 ゆり子

身近なところに、大地に育つ植物を口にできる幸福感でいっぱいです。家庭的には雰囲気を崩すことなく調理師の利用者さんに対する熱い細やかな配慮で、日々テーブルに並べられる手作りの食事に飽きることなく満足させられています。

利用者さんからは、「美味しい美味しい」「上げ膳で食べられるのは嬉しい、あわせ!」「こんなの食べたことない、しあわせ!」「家にいたら一人だもの・・・」ゆつたりとした昼食時間を利用者さんと一緒に会話しながら楽しく食べられることを私たちスタッフの方が喜ばせて頂いています。

調理の方も「今度は何が食べたい、作れるものは作るよ、作れないものは作れないと、皆で大笑いです。

調理で注意していることを伺うと、嚥下障害をおこさないように、材料は柔らかめにし、餅類は避けている、季節を感じてもらえる献立を考えています。とのことでした。

又、日課としておこなわれる口腔体操があり「むすんでひらいて」の伴奏で口を開け舌を出し、左右に動かしたり、回したり、周りを気にしながらも、皆ですれば大丈夫(笑)

まごころケアサービス 福島センター

利用者さん一人一人がこれからも長生きできて「こここの食事は美味しいな!」と食べて貰えることが続きますように。
食の大切さが重要視されている昨今、一人暮らしの高齢者がどれだけ満足のいく食事を摂られているのでしょうか?
まごころ配食サービスが又再開出来たらと思っています。



まごころサービス 岡山センター

窪田 章子

4月になりました。毎年のことながら介護保険制度の改正があります。今年は訪問介護、通所介護など点数変更もあり、4月・5月とてんやわんやになると・・・今から恐怖を感じている60代の優しそうなケアマネ3人組です。自立支援、心の自立（自律）へのお手伝いとして、ご利用者様に寄り添つて支援していくこうと試行錯誤の毎日です。「御用聞きのようなケアマネにならないよう！」・「利用者の言いなりになつてしているのは・！」などこれからはケアマネに対する評価もますます厳しくなります。しかし目の前に困っている高齢者がおられれば、動かずにはおられません。その方の生い立ち、環境、経済状態、希望によりサービス内容は違ってきます。型にはまつた内容では片づけられない場合は多いのが現実です。日々、このジレンマの中でケアプランを作り、ご本人、ご家族との調整に奮闘しています。

でも、「おかげで歩けるようになります。庭の草花に水をやることができ、毎日が楽しいです。」「母がデイサービスに行くことで、安心して仕事ができます。ありがとうございます。」の言葉に励まされ、キヤ



宇野すま子 森下清子 窪田章子 ケアマネ3名

ツ・キャットと喜び、また張り切つて訪問させていただいています。私達も高齢者に近づき、足腰痛いと訴えながらも仕事ができることに感謝し、ご利用者様の笑顔に感謝したいと思っています。

最後に毎年改正される介護保険制度に振り回され、利用者様へ説明してもわかりづらい内容（ほとんど理解できない方が多い）を、押しつけられるケアマネはいったいなんなんでしょうか？・・・



日々思うこと・・・

豊嶋 章子

今日もデイサービスから、利用者さん達の元気な声が聞こえてきました。そして昼食の準備と共によい香りが漂つて来て・・・口の体操が始まると、もうお昼です。毎日そんな風に生活の音やにおいて一日の時間が感じられる、楽しく生き生きとした職場でお世話になることが決まりたのが6年前のちょうど今頃です。

当時同居していた九十三歳になる祖母は、要介護認定も受けず元気には家業を手伝ってくれていましたので、介護保険についての知識は皆無と言つてもよい状態でしたが、当初は事務補助として、1日三時間程度介護保険や庶務関係のデータ入力のお手伝いをしていました。約1年後、前任者の退職に伴い常勤となり、介護報酬請求事務・庶務・経理など事務局としての色々な仕事をさせて頂いています。

現在までに、介護保険の改定も二度経験しましたが、生活援助に対してもだんだん厳しくなっているようになります。しかし事務所で利用者さんからのお電話を受けていると、お買い物の品を何度も連絡くださる

まごころケアにこにこ三豊

方、輸送サービスの予約や時間の確認される方、庭にある大きな泉の掃除や、草抜きの依頼等、お一人お一人が生活する上で気になる事は本当に千差万別です。そんな時、少しでも利用者さんの希望や要望に近づくためにはまごころサービスの存在は大きな力となっています。

これから本当の意味での利用者さんの生活に寄り添うためには、介護保険だけではますます難しくなつていきそうですが、“まごころサービス”的精神をいつも心に日々励みたいと思います。



まごころサービス 徳島センター

誰かのために・自分のために・
日々精進

尾華 千代枝

この1月25日（日）、眉山の麓大滝山にある和田乃屋にて平成27年新春研修会が開かれました。

和田乃屋は『滝のやき餅』で昔から有名ですが今は黄色い可憐な花『黄花亜麻』がここを訪れる人の目を楽しませてくれています。

徳島センターでは、会員が一堂に会する機会は年に2回程度。特に新春研修会は新たな気持とやる気を奮起させるための大切な行事です。

今年の研修会の1つめのテーマは『介護記録と報告書の書き方』です。初心に戻り、「なぜ記録を残さなければならぬのか」という理由を理解し、訪問介護計画に沿ったサービス内容、自立支援、リスクマネージメントなどの視点に立つた記録を残すように心がけるといったものでした。

2つ目は『健康寿命を延ばしますよ』というテーマで、久野譜也筑波大学大学院教授の著書で「大腿筋を鍛えなさい」という本から筋トレなどの無酸素運動とウォーキング等の有酸素運動を組み合わせた運動を習慣づけることによつて「脳」も

「体」も健康で長生きできることを学びました。
毎日、目的を持って誰かのために（自分のためでもよし）何かをする（頭も身体も動かさないと錆びつきます。『ピンピン、コロリ』）を目標に日々精進して頑張りましょう。

まごころケア 高松

悪徳商法があなたをねらっています

宮脇 佐代子

訪問販売トラブル（悪質商法・詐欺）にあわないので対策を消費者センターに問い合わせると、1人で悩まずに、すぐに相談してほしいと助言をいただきました。参考になる資料及び「振り込め詐欺電話撃退」を最近の新聞から抜粋し掲載します。

高齢者をねらう悪質商法



例 突然かかってきた電話。「あなただけに教える素晴らしい投資商品がある。元本保証で年率10%は確実。銀行に預けるのと同じ感覚で、利子がたくさんついてお得だ」と言うが、本当だろうか。

例

突然かかってきた電話。「あなただけに教える素晴らしい投資商品がある。元本保証で年率10%は確実。銀行に預けるのと同じ感覚で、利子がたくさんついてお得だ」と言うが、本当だろうか。

類似の手口

投資には必ず危険が伴います。悪い面を説明しないセールスマンは悪徳商法だと思つたほうがいいでしょう。

ポイント

- 突然電話がかかってきて「近く上場する予定の会社の未公開株がある。上場したら必ず3、4倍になる」と勧められて購入。しかし1年を過ぎても上場しない。
- 自宅にA社から社債のパンフレットが送られてきた。怪しいと思って無視していたが、ある日、Bという会社から電話がきて「A社の社債は選ばれた人しか購入できない。代理で購入してくれれば謝礼を払う」と言わされて申し込んだ。しかしお金を払った後、A社ともB社とも連絡がとれなくなつた。

振り込め詐欺電話撃退

「この電話は会話内容が自動で録音されます。」昨年、過去最悪となつた振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害を防ぐため、県警は来年度から、電話口でメッセージを流し、会話を自動録音する装置を使つた対策に乗り出す。狙われる可能性が高い高齢者を中心に無料で貸出し、撃退効果を検証する。

(四国新聞H27年2月18日付)

振り込め詐欺撃退のポイント

①どんな電話を受けても、あわてず冷静に！

「交通事故を起こした」「借金の取り立てで監禁されている」などと言われ、あわててしまえば犯人の思うツボ。冷静に相手の電話を聞くようにしよう。

②お金振り込む前に、必ず誰かに相談！

どんな理由であっても、誰から「お金を振り込め」「お金を送れ」と言われたら、払う前に必ず家族や友人、警察、消費生活センターなどに相談する。

③「ATMに行って」と言われた ら詐欺を疑う

ATMを自分で操作して、他人



少しでも「おかしいな」「本当かな?」と思ったら、その場で

契約はせずに、最寄りの消費生活センターに相談しましょう！



高松センターで26年度に行つた主な研修

1

第74期介護職員初任者研修課程
(通信方式)

・平成26年9月6日～平成26年12月20日

・7名が熱心に受講し、全員が資格を取得しました。今後も介護の人材不足が懸念されています。この資格は、介護専門職として第1歩のステップですが、ステップアップを期待しています。

・7名が熱心に受講し、全員が資格を取得しました。今後も介護の人材不足が懸念されています。この資格は、介護専門職として第1歩のステップですが、ステップアップを期待しています。

2

第3回福祉有償運送運転者講習

・平成26年7月26日

第4回福祉有償運送運転者講習

・平成27年1月24日

公共交通機関の利用が困難な人の移動を支援するサービスの確保のための運転者講習ですが、それぞれ4名、11名、計15名が受講し修了証を交付しました。「だれでも、いつでも、どこにでも」安心して出かれられる社会の実現のために躍を期待しています。

からお金を振り込んでもらうことは絶対できない。お金をもらう話でATMに誘導されたら詐欺を疑おう。

必ず一度電話を切つて、その団体の代表番号に電話で問い合わせる。

おう。

④警察・行政機関・銀行の名前を出されても安易に信用しない

必ず一度電話を切つて、その団体の代表番号に電話で問い合わせる。

おう。

孫子老だより

健康管理はユーモアと笑いで

みなさまお元気ですか？ 半年の出張から解放され我が家でくつろげる楽しみに帰つてきましたが、留守の間に私のあずかり知らない捷が制定されており、どこかの学生寮のようになつて落ち着きません。暖房の温度は20度厳守、夜10時を過ぎると容赦なく洗濯機からバスポンプを投入され、油断をすると風呂水が吸い取られ、ほとんど無い時があります。

ごはんが白米から雑穀米に変更になつております。白米大好きの私にとっては、雑穀米は虫入りごはんのように見えて馴染めません。体にいいのよ、とのたまう彼女ですが、半年前より確実に5kg以上は肥えているはずです、人の体型を言える立場ではありませんが口に出して本人に言うと大変なことになりますので紙面をお借りして申し上げました。

ただでさえ中高年の時間感覚は、早くなつてているのに年末から春先の行事の多さには辟易します。クリス

マスに始まりお正月 初詣 仕事始め 春の七草を全部言つてみない！ 成人式の次は節分名物恵方巻きの1本食い。バレンタインデーにチョコをもらつたら早、ホワイトデーの催促？ 桃の節句の次は卒業式。受験・入学式・引っ越しど、これらの行事が10日間隔でやつてきます。休みどころではありません。

そんな中、年始に楽しい出来事がありました。ジャンボ宝くじに当たったのです。なんと2千万円。私は家族にバレないよう当選番号の記事と宝くじを持って車で出かけました。うれしさよりも緊張感で運転が馴れません、よくこんな時に事故を起こすんだよなど自分に言い聞かせながら人目につかない場所はどこだと、ただでさえ悪い頭を働かせました。そうだ、○○神社の駐車場へ行こう。

閑散とした駐車場で当選番号の確認です。1つ1つ声を出して何度も合わせましたが、2等の2千万円に

見事当たつていました、こんな時はよくドラマで「ヤツター」と叫ぶイメージですが実際は、安堵感で顔がにやける程度です（個人差あり）ただちに高額当選者の手続について調べました。身分証明と印鑑が必要です、換金はみずほ銀行他とのことで、すぐさま近くの支店へ伺い当選金支払依頼書で手続です。準備に時間がかかりました。銀行に行くと丁寧に応接室に通されました。支店長代理の方と女性行員の方が「ご当選おめでとうございました」と言われ、やつと実感がわいてきました。「その日から読む本」と当選証書を受け取りました。持ち帰りの現金は百万円まで残金は振込まれるとの説明され帰宅です。誰も知らない金です、とはいえ今すぐに何か欲しいものがあると言えば特に思いつく物もなく、ささやかな祝

杯をあげて寝てしましました。

目覚めると怪獣妻ゴンが、これは何？と昨日受け取った当選証書を差し出していました、私は何が起こったのかわからなく、これは夢？などところで本当に目が覚めたのでした。

ともに夫婦で隠し事はできないと実感しました。その方は、隣席で夕飯を食べています。私も、既読した朝刊を読み直しながら食べています。特に喧嘩していることも関係が悪いことも無いのですがお互い無言です。

りません。話題が無いのです。小津安二郎の映画のようです。中高年に突入すると夫婦関係も老化していくのです。気を付けないといけませんね。

ある講演会の女性の先生の話です。

病気や介護、子育てなど社会性のテーマで講演を依頼され、受講者も若い人から年配の方まで幅広く講演している先生ですが、一つのテーマで集中し

食事については、今注目されているのが「えごま油」です。エゴマというシソ科の植物の種からできる油で

また同窓会に行くと当時の自分に戻れ気持ちが若返るので積極的に行つた方が良い。他に「歩く」「小犬を飼う」など何か刺激や軽い運動をすることも大事だと話をされていまし

妻を毎日褒める。たまには「愛している」と言うと女性は若返るそうです。それで、ある夫が恥ずかしく「愛している」と奥さんに言つたところ、「ありがとう」と返事されたそうです。てっきり「私もよ♥」と言つても、らえると期待していた夫は少しショックを受けたとのことでした。言葉は離いります。

うです。ところが「美容」の話をする
とみんなの顔つきが変わると言つて
いました。やはり女性にとって若さ
を保つことは永遠のテーマなのです
ね。どうすれば若返るかについて参

予防・不整脈予防・視力向上・アル

あらゆるものをキヤッチして
私を育てた疲れです

●年をとるってどんなこと

お世話になつた人々に

●年をとるつてどんなこと

どうせとるなら元気よく

みなさんと楽しく年をとりたいもの

指しましよう。

あるコラムで独身の娘さんと母親との関係をたのしい文章で表現されておりましたのでご紹介します。

評論家芦沢俊介氏の母、春江さん

● 年をとるってどんなこと

忘れっぽいというけれど

いっぱいまつた知恵の箱

●年をとるつてどんなこと

耳は遠いし日も悪い

なたは「友達と会つても話題はみんなの自慢ばかりだ」と嘆いていましたね。話に入れずに黙つて聞き役に徹しているあなたの姿が目に浮かび、心が痛みます。

でも私の友達が結婚するたびに落ち込むのはやめてください。幼い頃「みんな持つているから買つて」とおもちやをねだる私に、あなたはよく言つたじやないですか。「うちはうち、よそはよそ」。大体何事も他人様のようすんなりいかないのがあなたの娘です。それはあなたが一番よくご存じでしょう。

それから、先日私が「何かバザーに出せるものはない?」と聞いた時、あなたは押し入れの中からすてきなティーセットを出してきて、こう言いました。「これ、もしあなたがお嫁に行くことがあれば持たせようと思つたんだけど」。そんなものをバザーに出さないでください。そして、諦めないでください。

今私は家族も自分も健康で、仕

事もなんとかこなせて、モテないこと以外、特に悩みもありません。たいへん恐縮ですが、とりあえず今あるもので満足してはもらえないでしょうか。

最後に、先日あなたは私に「最近帰りが遅いからデートなんじやないかと期待している」と言いましたね。お母さん、本当にごめんなさい。それは全部、仕事です。

生涯未婚率、男35%、女27%というデーターもあります。出会う機会の減少だけでなく、それぞれの意識も時代とともに変わったのでしょうか、健�新らしいじやないかと子供は言います。がそれ以上を求めるのが親であります。

親も葛藤しているのです。我が家はの愚息も結婚できるのか心配になります。

ちょつと小耳にはさんだ話

●福島県の会津に「べこの乳(ちぢ)」という乳業メーカーが販売しています。

この私は家族も自分も健康で、仕

乳は味が濃く美味しいそうです。

地元では有名で口コミで広がりつづります。

島根は出雲大社だけなく「出雲ぜんざい」がブームになる気配

が? ぜんざいは、出雲地方の「神在(じんざい)餅」に起因しています。出雲地方では旧暦の10月に全国から神々が集まり、このとき出雲では「神在祭(かみありさい)」と呼ばれる神事が執り行われています。

そのお祭りの折に振る舞われたのが「神在(じんざい)餅」です。その「じんざい」が、出雲弁(ずーずー弁)で訛つて「ずんざい」、さらには「ぜんざい」となつて、京都に伝わつたと言られています。現在、出雲

地域ではこの「出雲ぜんざい」でまち起こしをしようと熱くなっています。

孫子老太郎

なく気候変動で洪水や強風、豪雪と自然災害が多くなっています。今一度、水害時と震災時の避難場所を確認してください。

半年ぶりの我が家でしたが、怪獣妻ゴンもバカ息子も離れていれば気になるものです。愛する家族と家庭があればこそ自分の健康も保たれるのだと奥さんと子どもたちに感謝しつつ、おそらく私のいないところでダメ亭主バカオヤジと言われていると思いつつ平和がなによりと感じる今日でした。みなさまのご健康を心よりお祈り申し上げます。



日本ケアシステム協会・第23回全国大会

今大会は「まごころケア塩釜センター」で準備を進めています。
東日本大震災により甚大な被害に遭遇しながらも、困難に立ち向かっておられる方々に思いをはせ、交流を深める大会にできればと考えています。

各センターにおかれましては、日程調整をいただき多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

・平成27年5月16日(土)

12:30 JR仙台駅前集合

14:00 「ささえ愛山元」にて中村理事長の体験談ならびに交流会

17:00 松島海岸「花ごころの湯 新富亭」懇親会・意見交換会

・平成27年5月17日(日) 於:「花ごころの湯 新富亭」

9:00 理事会・センター長会

10:00 平成27年度総会、

11:00 改正介護保険法などについて意見交換会

・5月17日13時解散後、下記により南三陸被災地視察を企画していますのでご参加ください。

旅行先:石巻・志津川・仙台の旅 旅行期間:平成27年5月17日(日)~平成25年5月18日(月)1泊2日

目次	月日(曜)	行程	宿泊先
1	5月17日(日)	松島→→→松島北IC→→→石巻港IC→→→石巻・日和山→→→女川町→→→ 13:00 13:10 13:50 14:20 15:00 15:20 大川小学校→→→志津川 15:50 16:10 17:10	南三陸海岸 ホテル観洋
2	5月18日(月)	志津川→→→南三陸さんさん商店街・防災庁舎→→→みやぎの明治村登米→→ 9:00 9:10 10:10 10:50 12:20 →桃山津山IC→→→仙台東IC→→→仙台駅 12:30 13:40 14:00	

各センターからのお知らせ

まごころケア国分寺

センター長が変更になりました。平成27年2月1日よりセンター長が川上美佐子さんから二川実加さんに変更となりました。

1月から訪問介護のサービス提供責任者の仕事をさせていただいています。今まで行っていた訪問介護も続けながら、引き継ぎ作業や挨拶まわりで一日があっという間ですが、やりがいのある仕事で毎日が楽しいです。

まだまだ何も分かっていない未熟者ですが、まごころこもった対応をこころがけて頑張りますので宜しくお願い致します。

まごころ国分寺センター長 二川 実加

まごころケア高松

「まごころケア高松センター」を母体として設立した社会福祉法人サマリヤにおいて「特別養護老人ホームサマリヤ」が平成27年3月にオープンしました。

ショートステイ20床をあわせ全体で100床の規模となっています。

新施設も理念「愛、忍耐、技術」の実践を随所に表わした賜物です。入居者やご家族の処遇の質がさらに高められることを願って、地域の交わりの拠点として有効に活用されることを祈っているところです。

職員募集中で、県外からの応募には職員宿舎もあります。

連絡先:087-869-1165まで



このお知らせコーナーを活用いただきますよう各地の情報を本部までご一報ください。

<p>介護保険業務の 様々なご要望にお答えします</p>	<p>はじめまして まいとうんメール便 です</p> <p>0120-800-263 南タウンネット</p> <p>高松メールセンターからのご案内</p> <p>メール便… ハガキ 封書 カタログ など</p> <p>激安価格で 配達します</p> <p>お問い合わせは こちらから 四国メールネットワーク協同組合 (有)タウンネット 高松メールセンター 高松市朝日町4丁目10番60号 TEL.087-813-0426 FAX.087-813-0436 E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp http://www.shikoku-mp.com/</p>	<p>www.sanuki-taberu.net</p> <p>ねべつるを 食べる 食岐 かがわの「うまいもん」を直送します こだわりぬいた初の味</p>
<p>介護保険トータルシステム「Rely II」</p> <p>株式会社 アール・シー・エス</p> <p>高松市錦町2丁目2番17号 西日本放送錦町ビル TEL:(087) 823-3011 FAX:(087) 826-5010</p>	<p>あいおいニッセイ同和損保代理店</p>	<p>カウネット(kaunet)代理店</p> <p>総合印刷・イベント事業・マニュアル制作 デジタルコンテンツ企画制作</p>
<p>株式会社 フリーエージェント</p> <p>八田 和忠</p> <p>*損保・生保・社会保険労務士* 扱っています。</p> <p>高松市伏石町 2028-2 TEL 087-816-8123 FAX 087-815-1171</p>	<p>(有)田所商店</p> <p>OA機器・スチール製品・紙文房具等 ☆少量から承ります。</p>	<p>株式会社 高松 東京</p> <p>成光社</p> <p>〒760-0065 高松市朝日町5-14-2 ☎087-823-0222 ☎087-823-0211 www.seiko-sha.co.jp</p>
<p></p> <p>四国中央医療福祉総合学院</p> <p>愛媛県四国中央市中之町1684-10 TEL(0896)24-1000 FAX(0896)24-1007</p> <p>学生募集中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理学療法学科 (3年制) ●作業療法学科 (3年制) ●言語聴覚学科 (3年制) ●看護学科 (3年制) ●介護福祉学科 (2年制) ●介護福祉士養成科 (通信: 6ヶ月) ●社会福祉学科 (通信: 1年8ヶ月) ●精神保健福祉学科 (通信: 9ヶ月 / 1年8ヶ月) <p>介護福祉士実務者研修 (通信 6ヶ月) 受講生募集中</p> <p>詳細はホームページ: www.rwf.ac.jp</p>	<p>地域とともにこれからも。</p> <p>た わ る ね も と お は な す る と あ ー て</p> <p>香川銀行</p> <p>トモニホールディングス</p>	<p>消防設備士の店</p> <p>四国防災設備 有限会社</p> <p>消防設備保守点検</p> <p>〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地 TEL(087)898-3913 FAX(087)898-8801</p>
<p>ご利用ください。</p> <p>● E-mail (電子メール) ●</p> <p> magokoro@hyper.ocn.ne.jp</p> <p>● URL (ホームページ) ●</p> <p> http://www.jp-care.gr.jp</p>	<p>編 集 後 記</p> <p>2011年3月11日、当時私はTV報道で次々と人家を飲み込んでいく津波の勢いに慄きながら、現地にいる営業マン達の安否確認に追われていました。その東日本大震災から4年。時の経過とともに、日常を取り戻すことができている人も多い反面、まだ困難な状況の中、復興に向けて精一杯がんばっている人たちがたくさんいらっしゃいます。5月の全国大会では、罹災された南三陸方面を訪れる予定です。この多大な犠牲を払った惨事を、風化させることなくしっかりと記憶に留めていきたいと思います。</p> <p>(三好 康義)</p>	

ご利用ください。

● E-mail (電子メール) ●



magokoro@hyper.ocn.ne.jp

● URL (ホームページ) ●



<http://www.jp-care.gr.jp>

全国まごころケアネット
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ocn.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jmss@cocoa.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
まごころケア仙台 はなまる広場	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷3丁目4-11	finamo_1_s@yahoo.co.jp	022-253-2627	022-253-2627
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂宇南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころケア国見	〒969-1761 福島県伊達郡国見町大字藤田字南54-2	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドツール第2 107号		043-274-9711	043-274-9718
まごころケアひまわり	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1丁目21-21		043-275-1872	043-275-1872
まごころケア横芝	〒289-1738 千葉県山武郡横芝光町鳥喰上2283		0479-82-1762	0479-82-1835
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川144番地	sqkg13630@leto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころケア神戸 なんきんまめ	〒651-2311 兵庫県神戸市西区神出町東1188-348	nankinmame@gol.com	078-965-3424	078-965-3428
まごころケア加古川	〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利409-28	tera1954-masa@beige.plala.or.jp	0794-24-9150	0794-24-9150
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市関19番地1	magokoronowa@mx4.et.tiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@h9.dion.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	ma11ka1584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアはぴねす・ まんのう	〒766-0021 香川県仲多度郡まんのう町大字四條615-4		0877-75-4322	0877-75-4343
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころサービス 徳島センター	〒770-0923 徳島県徳島市大道3丁目22-1	magokoro@coral.plala.or.jp	088-624-6578	088-624-6585
まごころケア ぽっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	tani280610@yahoo.co.jp	0896-59-1150	0896-59-1150

「日本ケアシステム協会」会報
平成27年3月30日 発行No.131

発 行 所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
TEL 087-815-0771 FAX 087-815-0773
編集発行人 兼間 道子
郵 便 振 替 口座番号 01610-0-92689
印 刷 所 (株)成光社